

1月 ちゅうりっぷぐみだより

2022. 1. 1



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお祈いします。



先月は、クリスマス礼拝にご参加していただき、ありがとうございました。コロナ禍のため、4回に分けさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

子どもたちにとって初めてのクリスマス礼拝。最初は「何が始まるのだろう？」と不思議そうにしていたのですが、1週、2週目と守っていく中で、歌の振りを覚えていき、「うたって」とリクエストしたり、神様のお話のペープサートをじっと見て聞いてくれたり、同じ飾りを見つけて喜んでいたり子どもたち一人ひとりがそれぞれの姿でクリスマスを楽しむことができたと思います。

1月に入り、いよいよちゅうりっぷ組として過ごすのも、残り3か月となりました。今は乳児フロアのとことごと、赤ちゃんフロアとそれぞれ分かれての生活となっています。それぞれの場所で子どもたちの好きなあそびを見つけて先生やお友だちとじっくりあそぶ時間を大切にすごしていきたいと思ひます。



親子であそぼう

布やタフロープののれんから「いないいないばあっ！」と顔を出すあそびを楽しんだり、たくさん破いた新聞紙のプールに入ってあそんだり、牛乳パックのサークルに入ったり出たりしてあそんだりと手足や全身を思い切り使って様々な素材に触れながらあそんできました。

そんな子どもたちの日頃のあそびを「親子であそぼう」では、おうちの方と一緒に楽しみたいと思ひます。ぜひ、ご参加ください！



♪はじまるよったら



はじまるよ♪

「おててがでたよ」

林 明子 作

ふれあいあそび

歌をうたうと、歌に合わせて体を揺らしたり、保育者の真似をして振りをつけて触れ合って遊ぶことが好きな子どもたち。「いっぽんばしこちょこちょ」「ランララン ハイ」や「くっついた」などをしています。「くっついた」という歌では、おててやほっぺた、お腹などくっつけていくあそびをしていたり、「ランラランハイ」では最初は保育者と1対1で手をつないでしていたのが、月齢の高いお友だち同士で手をつないで輪になってしたりする姿も出てきました。

親子であそぼうの日にも、おうちの方と一緒に歌に合わせてながら体を使ってあそんでいきたいと考えています。

